

## 愛媛県立図書館利用案内

### ★本を借りるとき★

1. 「利用カード」を作りましょう。
  - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作れます。
  - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
2. 本は、5冊まで3週間借りられます。
  - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。
  - ※本は大切に扱い、友達に貸したり失くしたりしないようにしましょう。

### ★本を返すとき★

1. 返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
  - ・次の予約が入っていない場合は、延長ができます。
2. 図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。
  - ※本が汚れていたり、大事なものはさんだりしていないか確認してください。
  - ※返却期日を守りましょう！！

### ★本を探すとき★

1. 図書館の検索用コンピュータで探すことができます。  
（書名や著者名で検索できます。）
2. インターネットや携帯電話から探すこともできます。
  - ※分からないときには、カウンターでたずねてください。

### ★本を予約するとき★

1. 予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出しましょう。
2. パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。
  - ※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。



みきやん

### 愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内

TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454

★開館時間★(火～金)午前9時40分～午後7時  
(土日・祝日)午前9時40分～午後6時  
(子ども読書室は午後5時まで)

★休館日★ 月曜、館内整理日(月末)、年末年始

<https://www.ehimetosyokan.jp>

(携帯サイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/mobileopac/top.do>)

(スマートフォンサイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>)

## 愛媛県立図書館 YAコーナー

# YAつうしん

Vol. 47 2016. 11



### ★新刊案内★

- ☆『LGBTなんでも聞いてみよう』 QWRC／著 子どもの未来社
- ☆『小論文これだけ! 教育超基礎編』 樋口 裕一／著 東洋経済新報社
- ☆『生きているかぎり語りつづける』 館林 愛／著 主婦の友社
- ☆『ハッブル』 家 正則／著 岩波書店
- ☆『アリスのうさぎ』 斉藤 洋／作 偕成社
- ☆『15歳の被爆者』 切通 理作／著 彩流社
- ☆『世界を7で数えたら』 ホリー・ゴールドバーグ・スローン／作 小学館
- ☆『青の数学』 王城 夕紀／著 新潮社
- ☆『いい人ランキング』 吉野 万理子／著 あすなろ書房
- ☆『弾丸スタントヒーローズ』 美奈川 護／著 集英社
- ☆『高校生に知ってほしい心理学』 宮本 聡介／編著 学文社
- ☆『レジリエンス入門』 内田 和俊／著 筑摩書房
- ☆『ノーベル賞でつかむ現代科学』 小山 慶太／著 岩波書店
- ☆『徳川家が見た戦争』 徳川 宗英／著 岩波書店

# 冬のものごたがり

## ～寒くなったら読みたい本～



### 『青の数学』 王城 夕紀著 新潮社

国語や英語はこの世界にある言語を学ぶ。地理はこの世界の地名や地形を学ぶ。化学はこの世界を構成する元素とその働きを学ぶ。物理はこの世界を構成する力を学ぶ。では、数学は？

雪の日に栢山(かやま)が出会った女子高生京香凜(かなどめかりん)は、数学オリンピックを制した天才だった。若き数学者が集うネット上の決闘空間「E2」。全国トップ借成高校の数学研究会「オイラー倶楽部」。ひたすら問題を解き、ライバルと出会い、競う。すべてって、どうやって求めるんだろう。ひたむきな思いを、数学へとぶつける少年少女たちを描く青春小説。



### 『世界の鍋』 服部 直美著 情報センター出版局

世界中には、まだ知らない鍋がたくさんあります。モンゴルの「ホイツアイ」は羊肉と野菜の鍋。タイの「プラチョーンペッサ」はかわいい魚の形の鍋で作ります。

珍しい世界の鍋コレクション、世界の調味料コレクションも掲載。世界中の鍋の向こうにある温かさと、旅気分が味わえる本。



### 『白をつなぐ』 まはら 三桃著 小学館

1月、広島で行われる都道府県対抗駅伝に出場する福岡県チーム。中学生の山野、斎藤、佐々木、高校生の川原、沢田、谷山、池田、社会人大学の水島ほか3名。合宿から始まり、レースの1～7区、そして故郷に帰るまでが描かれる。メンバーは、家族への、恋人への、そして自分への競技人生への思いを背負って走る。

…真っ白だろう。それが、君たちの走っていく道だ。—真っ白な心をつないでくれ。



### 『あたらしいみかんのむきかた』

岡田 好弘作、神谷 圭介絵/文 小学館

冬においしいみかん。愛媛県民たるもの、みかんについて知っていなければ！「むきおくんが、だいすきなみかんをたべずにじっと見つめています。なにやらしんけんなかおでかんがえています。このままでいいのだろうか？だいすきなみかんをただむくだけでいいのだろうか？もっとすてきなむきかたはないのだろうか。」

みかんは実だけでなく皮も素晴らしいのです。十二支の動物たち、いか、太陽などにむいてみよう。レトロな装丁も魅力。



### 『下町ボブスレー』 奥山 睦著 日刊工業新聞社

専用のそりに乗って、氷が張ったコースを滑走しタイムを競う競技、ボブスレー。国産初のソリを作るべく、2011年、大田区の職人がプロジェクトを立ち上げた。約30社が参加し、10日で部品が集まり、3か月余りで全日本選手権デビュー、優勝を飾った。大田区を元気にしたい。職人たちの思いが動き出す。

「部品がもし200点あれば、1つひとつを200社で分けて、それを組み立ててソチオリンピックを目指したい。大田区の町工場みんなで作ったボブスレーを、日本中、世界中に配信していきたいんです。」

モノづくり屋に「できない」はない。オリンピックを目指した800日の記録。



ご質問やご意見は、メールでも受け付けます。

アドレスは、[ya@libnet.ehimetosyokan.jp](mailto:ya@libnet.ehimetosyokan.jp)  
(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)

★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。